奈良工業高等専門学校	開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	英語Ⅱ

科目基礎情報

科目番号	0023	科目区分	一般 / 必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 3
開設学科	機械工学科	対象学年	2
開設期	通年	週時間数	3
教科書/教材	Genius English Communication II Revised (大脩館書店), Data Base 3000 (桐原書店), 総合英語「Forest」第７版（桐原書店）（いずれも1年次に購入済み）, Genius English Communication Ⅱ 学習ノート		
担当教員	前田 哲宏		

到達目標

1．英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を持つことができる。
2．英語を通じて、平和・音楽、動物、心理、哲学、科学技術などに関する情報や考えなどを的確に理解することができる。
3．英語を通じて、平和・音楽、動物、心理、哲学、科学技術などに関する考えや概要を適切に伝えることができる。
4．言語の使用場目や目的に合わせて、語彙・文法事項を適切に運用することができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1（コミュニケーションへの関心・意欲・態度）	教科書本文のトピックに関心を持ち、ペアワークやグループワークにリーダー的立場として取り組んでいる。	教科書本文のトピックに関心を持ち、ペアワークやグループワークに積極的に取り組もうとしている。	教科書本文のトピックへの関心も薄く、ペアワークやグループワークができない。
評価項目2（外国語表現の能力）	教科書本文を読み、内容を英語で要約して話したり、平易な表現を用いて学んだことや考えたことについてまとまりのある文章を書くことができる。	教科書本文を読み、内容の要約を英語で書くことができる。	教科書本文を読み、内容の要約を英語で書くことができない。
評価項目3（外国語理解の能力）	教科書本文を聞き、推測しながら情報や考えなどを理解することができる。	教科書本文を読んで概要や要点を読み取ることができる。	教科書本文を読んで概要や要点を読み取ることができない。
評価項目4（言語や文化についての知識・理解）	目標文法事項の形・意味・用法を理解して、正確に自己表現ができる。	目標文法事項の形・意味・用法を理解し、ある程度正確に自己表現ができる。	既習文法事項の形・意味・用法が理解できず、単語の羅列になってしまう。

学科の到達目標項目との関係

準学士課程（本科１～５年）学習教育目標 （３）

教育方法等

概要	「読む・書く・話す・聞く」の4技能を総合的に学習し、1年次に身に付けた基礎的な文法、構文の学力に基づいて、発展的に発話力や読解力や作文力や語彙力を身につけることを目的とする。国際社会に必要な異文化や異なる考え方に対する理解を促すとともに、「考える力」の育成を目指す。
授業の進め方・方法	できるだけ授業はペアワークやグループワークの形で行う。教科書本文の要約をリスニング活動として行い、大意を把握してから本文の精読に移る。精読活動は主にグループで行い、グループ内で互いに考え、協働学習をすすめる。 教材毎に、精読、速読、コミュニケーションに重点を置いて指導するが、文法力や作文力や発話力の更なる育成を目指す。精読では、文法や構文に留意して正確な英文解釈、内容把握をさせる。速読では、英語の流れに従って、短時間に正確にポイントを把握させる。コミュニケーションでは、積極的に英語を運用させる。
注意点	関連科目：英文読解Ⅰ 学習指針： 新出単語・連語は必ず予習すること。各レッスンのまとめにある文法事項を理解し、作文できるようにすること。毎週実施される単語テストは語彙力をつけるために必要であるので真剣に取り組むこと。

学修単位の履修上の注意

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	ガイダンス、Lesson 1 Hanamizuki	日米交流の架け橋としてやってきたハナミズキ。今日も平和を願いながら咲き誇る。Itの用法(1)[It seems that~, It takes / costs~]。have/get+目的語+過去分詞。
		2週	ガイダンス、Lesson 1 Hanamizuki	日米交流の架け橋としてやってきたハナミズキ。今日も平和を願いながら咲き誇る。Itの用法(1)[It seems that~, It takes / costs~]。have/get+目的語+過去分詞。
		3週	ガイダンス、Lesson 1 Hanamizuki	日米交流の架け橋としてやってきたハナミズキ。今日も平和を願いながら咲き誇る。Itの用法(1)[It seems that~, It takes / costs~]。have/get+目的語+過去分詞。
		4週	Lesson2 Learning Language, Learning Self	外国語を学ぶことはその背景にある文化も含めて学ぶこと。受動態[群動詞, It's said/believed~, get +過去分詞]。受け身の受動態[being+過去分詞]
		5週	Lesson2 Learning Language, Learning Self	外国語を学ぶことはその背景にある文化も含めて学ぶこと。受動態[群動詞, It's said/believed~, get +過去分詞]。受け身の受動態[being+過去分詞]
		6週	Lesson2 Learning Language, Learning Self	外国語を学ぶことはその背景にある文化も含めて学ぶこと。受動態[群動詞, It's said/believed~, get +過去分詞]。受け身の受動態[being+過去分詞]
		7週	Lesson2 Learning Language, Learning Self	外国語を学ぶことはその背景にある文化も含めて学ぶこと。受動態[群動詞, It's said/believed~, get +過去分詞]。受け身の受動態[being+過去分詞]
		8週	前期中間試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。

	2ndQ	9週	Special Issue	国際交流プログラム Asian Youth Forumで扱われるテーマについて教科書外の教材（英字新聞等）を用いて英語を通して学習する。
		10週	Special Issue	国際交流プログラム Asian Youth Forumで扱われるテーマについて教科書外の教材（英字新聞等）を用いて英語を通して学習する。
		11週	Special Issue	国際交流プログラム Asian Youth Forumで扱われるテーマについて教科書外の教材（英字新聞等）を用いて英語を通して学習する。
		12週	Lesson 3 Nature Technology	自然からヒントを得て、より地球に優しい技術が生まれる。複合関係詞[複合関係代名詞, 複合関係形容詞, 複合関係副詞]。関係副詞[非制限用法]。
		13週	Lesson 3 Nature Technology	自然からヒントを得て、より地球に優しい技術が生まれる。複合関係詞[複合関係代名詞, 複合関係形容詞, 複合関係副詞]。関係副詞[非制限用法]。
		14週	Lesson 3 Nature Technology	自然からヒントを得て、より地球に優しい技術が生まれる。複合関係詞[複合関係代名詞, 複合関係形容詞, 複合関係副詞]。関係副詞[非制限用法]。
		15週	前期末試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。
		16週	試験返却・解答	試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。
後期	3rdQ	1週	Lesson 4　Ahmed’s Gift of Life	子供を失った父親は意外な方法で戦争にNOを突きつけた。仮定法[I wish~, as if~, were to~, if S should~, if it were not for~, if it had not been for~]。 同時に、教科書では語られていないイスラエルとパレスチナの問題をドキュメントと映画を通じて学ぶ。
		2週	Lesson 4　Ahmed’s Gift of Life	子供を失った父親は意外な方法で戦争にNOを突きつけた。仮定法[I wish~, as if~, were to~, if S should~, if it were not for~, if it had not been for~]。 同時に、教科書では語られていないイスラエルとパレスチナの問題をドキュメントと映画を通じて学ぶ。
		3週	Lesson 4　Ahmed’s Gift of Life	子供を失った父親は意外な方法で戦争にNOを突きつけた。仮定法[I wish~, as if~, were to~, if S should~, if it were not for~, if it had not been for~]。 同時に、教科書では語られていないイスラエルとパレスチナの問題をドキュメントと映画を通じて学ぶ。
		4週	Lesson 4　Ahmed’s Gift of Life	子供を失った父親は意外な方法で戦争にNOを突きつけた。仮定法[I wish~, as if~, were to~, if S should~, if it were not for~, if it had not been for~]。 同時に、教科書では語られていないイスラエルとパレスチナの問題をドキュメントと映画を通じて学ぶ。
		5週	Lesson 8　Emotions Gone Wild	動物も人間と同じように複雑な感情を持っているのだろうか?。There構文[There+be以外の動詞]。関係代名詞(2)[二重限定]。
		6週	Lesson 8　Emotions Gone Wild	動物も人間と同じように複雑な感情を持っているのだろうか?。There構文[There+be以外の動詞]。関係代名詞(2)[二重限定]。
		7週	Lesson 8　Emotions Gone Wild	動物も人間と同じように複雑な感情を持っているのだろうか?。There構文[There+be以外の動詞]。関係代名詞(2)[二重限定]。
		8週	後期中間試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。
	4thQ	9週	文法のまとめ	分詞の用法、分詞構文等
		10週	文法のまとめ	分詞の用法、分詞構文等
		11週	Lesson 9　Michael J. Sandel on Kant: Freedom and Morality	サンデル教授が語るカントにとっての自由と倫理とは?。倒置。不定詞(2)[独立不定詞]。省略。 自由と道徳的価値について考える。
		12週	Lesson 9　Michael J. Sandel on Kant: Freedom and Morality	サンデル教授が語るカントにとっての自由と倫理とは?。倒置。不定詞(2)[独立不定詞]。省略。 自由と道徳的価値について考える。
		13週	Lesson 9　Michael J. Sandel on Kant: Freedom and Morality	サンデル教授が語るカントにとっての自由と倫理とは?。倒置。不定詞(2)[独立不定詞]。省略。 自由と道徳的価値について考える。
		14週	Lesson 9　Michael J. Sandel on Kant: Freedom and Morality	サンデル教授が語るカントにとっての自由と倫理とは?。倒置。不定詞(2)[独立不定詞]。省略。 自由と道徳的価値について考える。
		15週	学年末試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。
		16週	試験返却・解答	試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	前3,前7,前11,前14,後4,後7,後14
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	前3,前7,前11,前14,後4,後7,後14

				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後11,後12,後13,後14
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	前1,前4,前12,後1,後5,後11
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	前3,前7,前11,前14,後4,後7,後14
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後11,後12,後13,後14
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	前1,前4,前12,後1,後5,後11
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後11,後12,後13,後14
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	

				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	
	工学基礎	グローバリゼーション・異文化多文化理解	グローバリゼーション・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	2	
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	2	
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	2	
				それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。	2	

評価割合

	定期試験	小テスト	提出物	合計
総合評価割合	70	20	10	100
基礎的能力	70	20	10	100